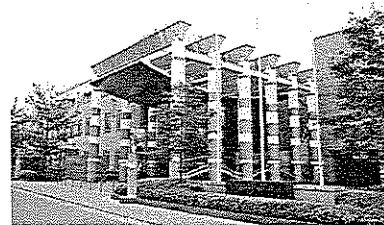


宇都宮市立図書館

としょかん



宇都宮市立東図書館

—宇 都 宮 市—

数字でみる図書館

～平成10年度の実績から～

宇都宮市では、市立図書館、東図書館、移動図書館、公民館図書室及び巡回文庫などを通して、市民への図書利用サービスを行っておりますが、この度、平成10年度の図書館利用状況がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

◎ 市民の 56.1 パーセント（半分以上）が登録

図書館の図書資料を借りようとする場合は、あらかじめ申込書を図書館に提出し、貸出券の交付を受けなければなりません。その交付を受けた方（登録者）の数は 247,800人（11年3月末）余りで、市民の約56.1パーセントの方々が登録しております。

$$\begin{aligned} \text{登録者} &= 247,811 \text{ 人} \\ \text{登録者 (\%)} &= \frac{\text{登録者}}{\text{人口}} = \frac{247,811 \text{ 人}}{441,650 \text{ 人}} \\ &\approx 56.1 \% \end{aligned}$$

◎ 市民一人当たり、4.6 冊を貸出し

登録をした方々に図書等の貸出しを行っておりますが、図書館全体（公民館図書室等を含む。）での貸出し冊数は約 2,318,000冊（視聴覚資料を含む）

で、登録者一人当たりでは約 9.3冊、市民一人当たりでは約 4.6冊貸出したことになります。

$$\begin{aligned} \text{登録者一人当たり貸出し冊数} &= \frac{\text{貸出し冊数}}{\text{登録者数}} \\ &= \frac{2,318,516 \text{ 冊}}{247,811 \text{ 人}} \approx 9.3 \text{ 冊} \\ \text{人口一人当たり貸出し冊数} &= \frac{\text{貸出し冊数}}{\text{人口}} \\ &= \frac{2,318,516 \text{ 冊}}{441,650 \text{ 人}} \approx 5.2 \text{ 冊} \end{aligned}$$

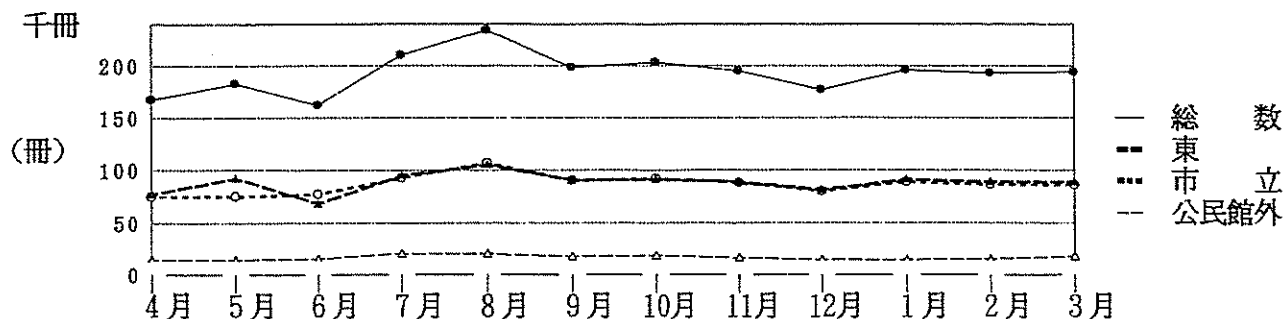
◎ 利用しやすいのは4月又は5月

一年を通して貸出し冊数の多い月は、7・8月の夏休みの時期と10月の読書の秋の時期です。

反対に貸出冊数の少ない月は、4月の異動時期です。また、6月が特に少ないのは、この時期には図書館の特別整理期間があるためです。

したがって、比較的空いている4月か5月頃が図書館を利用しやすいと言えるかと思います。

貸出し冊数の推移



◎ なんと、約14,000円の節約です

平成10年度は、市民一人当たり約 5.2冊、一世帯当たり約13.9冊貸し出されましたが、これを金額に換算しますと、一人当たり約14,145円、一世帯当たり約37,593円となり、この金額が市民に還元され、あるいは市民の図書購入費が節約されたと言えます。

総貸出冊数×図書購入費平均単価＝必要経費

人口または世帯数

$$= \frac{2,318,516 \text{ 冊} \times @2,992 \text{ 円} - 689,500,670 \text{ 円}}{441,650 \text{ 人} \text{ 又は } 166,184 \text{ 世帯}}$$

$$= 14,145 \text{ 円} \text{ 又は } 37,593 \text{ 円}$$

※ (図書購入費平均単価は'98年出版単価から)
必要経費は平成9年度決算額から

◎ 一人当たり、約 2.2冊の所有

宇都宮市が所蔵している図書等の冊数は、1,008,000 冊余りで、市民一人当たりになおすと約 2.2 冊となります。また、これをお金に換算すると約 6,582円になります。

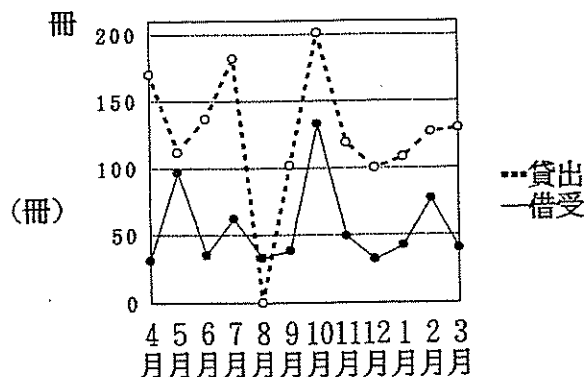
$$\text{一人当たり蔵書冊数} = \frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}} = \frac{1,008,549 \text{ 冊}}{441,650 \text{ 人}}$$

$$= 2.2 \text{ 冊}$$

◎ 相互貸借もやっています

図書館では、必要とする資料が見つからない場合でも、他の公共図書館や国会図書館から借りる相互貸借制度により、市民へのサービスを提供しております。宇都宮市の図書館は、借受よりも貸出の方が多くなっております。

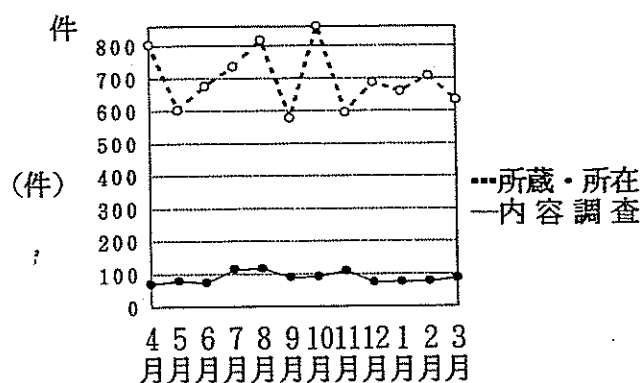
相互貸借



◎ 疑問は図書館で解決

図書館では、日常の暮らしや仕事上で起こる疑問、問題等に対し、幅広い質問を受け付け、図書館の資料を使って解決の手助けをしております。

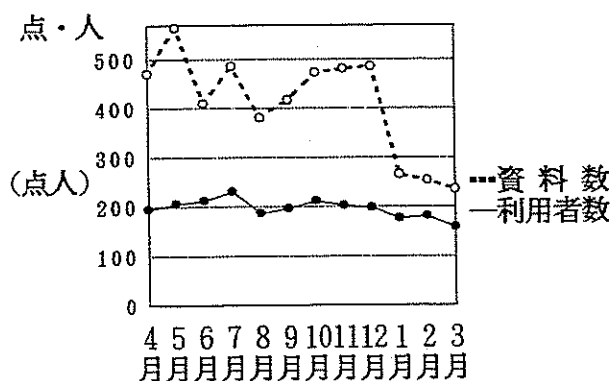
調査相談件数の推移



◎ 障害者サービスの利用

障害者へのサービスとして、点字・声の図書を作成し利用していただくとともに、点字・声の図書のほか一般図書の郵送貸出しや対面朗読なども行っております。

郵送貸出利用状況



第15回「うつのみやこども賞」

表彰式・受賞記念講演会開催

平成11年5月23日（日）

「ぼっこ」の著者、富安陽子先生を迎えて

去る5月23日（日）、第15回「うつのみやこども賞」の表彰式及び受賞記念講演会が行われました。

平成10年度、11年度の選定委員をはじめとして、多くの受講者に参加していただきました。

《表彰式》

最初に平成10年度の選定委員を代表して、石崎千雪さん、名村麻里恵さんから表彰状を、小堀淳美さんから花束をそれぞれ先生にお渡ししました。

続いて、宇都宮子どもの本連絡会会長と市立図書館の館長から選定委員への感謝状と記念品の贈呈が行われました。

《講演会》

富安先生と昨年度の選定委員との記念撮影の後、受賞記念講演会に移りました。先生の作品は平成2年度に「クヌギ林のザワザワ荘」が同賞に選ばれており、今回で2度目の受賞となります。「子どもたちに2度も選ばれたということは、非常に光栄でうれしいことです」とおっしゃっていました。

今回の受賞作品は、主人公の男の子とその引っ越し先の家に住みついている不思議な少年「ぼっこ」との交流を描いた物語です。先生からこの物語はどうやってできあがったのか、どういう体験をし、どんな子ども時代を送ってこのような物語の作り手になったのか、というお話をしていただきました。

「ぼっこ」は昔から伝わる「座敷ぼっこ」（座敷わらし）の民話からイメージをふくらませてできあがった作品ということです。座敷わらしは家に住む妖怪で、家にいる間はその家はとても栄えるけれども出ていってしまうとあっという間にさびれてしまうという不思議な話が伝えられています。

先生は、本の「ぼっこ」にそんな不思議を描きたかった、とおっしゃっていました。不思議が子どもたちを引きつけ、不思議を子どもたちが信じてくれるからこそ物語が書けるということも話されていました。大人になると気づかなくなってしまう不思議を感じる心が大事なんです、と強調されていました。また、多くの質問が出され、これからどのような作品に取り組みられるのか、ということにもふれていただきました。

面白いエピソードをたくさん聞かせていただき、笑い声がたえない楽しい講演会となりました。これからも私たちに“不思議”な面白さを物語で描いてほしいと思いました。



うつのみやこども賞受賞図書一覧

平成11年5月現在

年度	回	書名	著者名	出版社
1984	1	おばあさんのソウ	かつおきんや	リトル出版
1985	2	二分間の冒険	岡田淳	偕成社
1986	3	お江戸の百太郎	那須正幹	岩崎書店
1987	4	バツケの原の物語	吉田とし	小峰書店
1988	5	ジャパニーズ・ドリーム	蜂屋誠一	偕成社
1989	6	児童館の黒キリン事件	新庄節美	講談社
1990	7	クヌギ林のザワザワ荘	富安陽子	あかね書房
1991	8	テオバルドの騎士道入門	斎藤洋	理論社
1992	9	ジークー月曜日曜日曜	斎藤洋	偕成社
1993	10	八月の恐竜	三田村信行	ほるぷ出版
1994	11	うさぎ色の季節	緒島英二	ポプラ社
1995	12	塾 七転び八起き12歳	高山栄子	ポプラ社
1996	13	ハートボイスーいっ翔る	青木和雄	金の星社
1997	14	スズメぼうし	たつみや章	あかね書房
1998	15	ぼっこ	富安陽子	偕成社

第101回 落 語 会

前回、めでたく100回目を迎えた視覚障害者鑑賞用テープ作成のための落語会ですが、今回も100回記念の第2弾といたしまして、のんき亭喜楽一門会のご協力により『十倍落語特選会』を開催いたします。

ぜひ、皆様お誘い合わせの上、お出かけください。

▼日 時 7月24日(土) 午後2時～4時

▼会 場 市立図書館 3階集会室

▼入場料 無 料 当日直接会場へ

(講座) 近代文学を読む

▼日 時 7月17日(土) 午後2時～4時

▼場 所 市立図書館 3階集会室

▼講 師 宇都宮大学助教授 鈴木 啓子 氏

▼定 員 60名

▼入場料 無 料

▼申 込 7月8日(木) 午前9時から、直接又は
電話で市立図書館へ ☎ 636-0231

利 用 案 内

○開館時間

1 火曜日～金曜日

午前9時30分～午後7時(児童図書室は午後5時まで)

2 土曜日・日曜日・5月5日・11月3日

午前9時30分～午後5時

○休館日

1 月曜日

2 国民の祝日・休日(土・日・5月5日・11月3日は開館)ただし、月曜日に当たるときは翌日

3 年末年始(12月29日～1月3日)

4 図書整理日(毎月第3木曜日、ただし、祝日にあたるときは翌日)

5 特別整理期間(年に10日以内)

《音訳奉仕員事業説明会》

4月21日、市立図書館において、音訳奉仕員に対する11年度の事業・研修計画等についての説明会を行いました。

《点訳奉仕員事業説明会》

4月20日、市立図書館において、点訳奉仕員の皆さんに、10年度の実績報告と11年度の研修会日程等の説明を行いました。併せて、点訳校正指導員の辞令交付を行いました。

《点訳奉仕員養成講座説明会》

5月25日、市立図書館において、点字の基本的な読み方や養成講座の内容についての説明会を行いました。

◎ 目 安 箱

【Q】 返却期限がきても本を読み終わらない時などは、電話による期限の更新をして欲しいのですが。

【A】 図書の貸し出しはコンピュータで処理しておりますので、継続して読みたい場合は一度図書館に来ていただき、機械による返却処理を済ませた後、改めて貸し出されることになっております。これは、次の予約者を確認するためでもあります。

お手数でも、趣旨をご理解の上、ご了解ください。

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚			

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	⑤	6	7	⑧	9	⑩
11	⑫	13	14	⑮	16	17
18	⑮	⑯	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

○印：休館日 ■印：市立図書館のみ特別整理日
 ■印：東図書館のみ特別整理日

としょかん 第106号

平成11年6月1日

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320-0845 ☎636-0231
 宇都宮市立東図書館 今泉町2137番地 〒321-0962 ☎638-5614